

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	38,220	45,516	45,845	46,467	72,891
		(b)予算現額	33,329	45,516	38,964	41,943	44,133
		(c)増減額(b-a)	-4,891	0	-6,881	-4,524	-28,758
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	33,329	45,516	38,964	41,943	44,133
	B.執行済額		32,194	37,465	36,983	40,996	39,737
		うち交付金充当額	25,755	29,971	29,465	32,796	31,789
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.6%	82.3%	94.9%	97.7%	90.0%
予算の状況の説明		予算執行率が90%だった要因として、会計年度任用職員の退職や雨天時の中止、共済費の過大積算などにより、不用額(4,396千円)が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
	美化活動の実施 ①観光地:5箇所 ②アクセス道路:13路線 ③拝所:90箇所	目 標	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線 拝所:90箇所)	(①5箇所 ②13路線 ③90箇所)	(①5箇所 ②13路線 ③90箇所)	
		実 績	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線 拝所:90箇所	①5箇所 ②13路線 ③90箇所	①5箇所 ②13路線 ③90箇所	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地5箇所(大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園)及びアクセス道路13路線、その他村内に点在する拝所において美化活動を実施し、目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		81%	59%	70%	
		目 標	()			()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本村の観光に関するアンケート調査の結果、「観光スポットについていかがでしたか」の質問に対し、「とても良かった」、「良かった」との回答が70%となっており、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光地やアクセス道路、拝所など計画的に草刈り作業を進めてきたが、梅雨などの雨が多い時期に観光地5か所の草の繁茂が目立っていたことからアンケート調査での「とても良かった」「良かった」の回答割合が低かったと考えられる。	観光地5か所についてはアクセス道路や拝所より優先して草刈りの頻度を増やしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
これまで、村直営で実施してきたが、令和7年度からは一般社団法人栗国村観光協会に業務委託していくので、連携を密にして事業を進めていき、アンケート調査結果を上げていくように努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>交付金</th><th>市町村負担金</th></tr><tr><td>39,737</td><td>39,737</td><td>31,789</td><td>7,948</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 39,737千円 報酬 25,071千円 職員手当等 7,931千円 共済費 4,636千円 需用費 1,233千円 委託費 534千円 備品費 332千円 会計年度任用職員 報酬 会計年度任用職員 職員手当 会計年度任用職員 共済費 消耗品及び燃料費 高所作業車オペレーター委託費 草刈り機5台					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	交付金	市町村負担金	39,737	39,737	31,789	7,948	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		交付金	市町村負担金													
39,737	39,737	31,789	7,948	0												
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○会計年度任用職員は公募により採用し、適正に支出されていることから妥当だと判断した。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○補正にて減額が生じたが、業務は計画的に概ね執行していたので、予算規模は適正だったと考えている。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○成果目標は未達であったが、費目・使途は事業目的に即して経費を支出していた。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	栗国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	栗国村「ア」のくにづくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(10)－ウ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26年～令和13年度(令和3年度中止)		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 観光の振興に資する事業等 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	観光プロモーション活動を通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、認知度の向上及び観光誘客を図るため、栗国村「ア」のくにまつりの開催や観光PR活動及び広報周知活動を実施し、観光入客数増加及び定住の促進を図るために実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	26,410	38,220	37,836	25,000	33,630
		(b)予算現額	23,556	33,329	31,471	25,000	33,055
		(c)増減額(b-a)	-2,854	-4,891	-6,365	0	-575
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		23,556	33,329	31,471	25,000	33,055
	B. 執行済額		20,342	32,194	31471	25,000	32,010
	うち交付金充当額		16,273	25,755	25176	5,000	25,608
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		86.4%	96.6%	100.0%	100.0%	96.8%
予算の状況の説明		令和6年度は台風の影響により開催日が1日となったため、執行率が96.8%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	イベント開催:1回(2日間)	目標	()	(イベント開催1回)	(イベント開催1回)	(イベント開催1回)	
		実績		イベント開催1回	イベント開催1回	イベント開催1回(1日)	
	広報周知活動(フェア出展)	目標	(ブース設置期間:6日)	(ブース設置期間:3日)	(ブース設置期間:3日)	(ブース設置期間:3日)	
実績		ブース設置期間:9日	ブース設置期間:0日	ブース設置期間:3日	ブース設置期間:3日		
達成状況説明	地域の伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るイベントとして、栗国島「ア」の国まつり(村内団体による芸能、ゲストライブ、カラオケ大会、打上花火等)を1回実施した。9月28日、29日の開催予定であったが、台風18号の影響により29日は中止し1日のみの開催となった。 ブース設置については、離島フェアに参加し、市町村ブースで3日間(11月15～17日)設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	基準値(年度)
	栗国島芸能:出演演舞者50人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー)	目標	()	(35人)	(50人)	(50人)	()
		実績		47人	52人	41人	
	イベント来場観光客数:100人(2日間)	目標	()	(94人)	(112人)	(100人)	()
		実績		36人	145人	79人	
	広報周知活動【フェア出展】 5,000人に観光PR用の配布物を提供する。	目標	()	(15,000人)	(15,000人)	(5,000人)	()
		実績		0人(未実施)	15,000人	5,000人	
	栗国村観光PR活動の実施	目標	()	()	(実施する)	(実施する)	()
		実績			実施した	実施した	
	進捗状況説明	(栗国島芸能演舞者について) 栗国島芸能(むんじゅる節、マースヤー、エイサー)の出演演舞者は目標50人に対し、41人が出演し目標を達成できなかった。 (イベント来場観光客数について) イベントに来場した観光客数は目標100に対し、79人の来場となり目標達成ができなかった。 (ブース設置について) 観光PRグッズ(ガイドブック、うちわ、手提げ袋)をブース来店者5,000人に配布し、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(粟国島芸能演舞者について) 台風の影響により島出身者が帰省できなかったことが目標未達の要因と考えられる。 (イベント来場観光客数について) 島外から来るまつりスタッフを公共施設で宿泊してもらうことにより、観光客が民宿に宿泊できるようになった。しかし、台風接近でキャンプツアーが中止になったことから目標達成ができなかった。 (ブース設置について) 離島フェア開催中に、本村に興味を持っている方(5,000人)に、観光PRグッズを配布することができた。	(粟国島芸能演舞者について) 演舞者の参加人数増加についてより工夫する必要がある。 (イベント来場観光客数について) 観光客の増加について、宿泊先の確保に向けて空き家を活用するなど引き続き工夫する必要がある。 (ブース設置について) 配布物の価格高騰より前年度より配布物を10,000人分減らし、5,000人分にしたところ不足したので、10,000人分を増やすために配布物の素材等を見直す必要がある。
今後の取り組み方針		
(粟国島芸能演舞者について) 演舞者の参加人数を増加させるため、周知活動を強化する。 (イベント来場観光客数について) 宿泊先の確保に向け情報収集に務めることにより、イベント来場観光客の増加に繋がる。 (ブース設置について) 委託先と協議を重ね、配布物の増加に務める。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,010	32,010	25,608	6,402	0

栗国村
32,010千円

委託料
32,010千円

丸正印刷株式会社
32,010千円

栗国村「ア」のくにつくり推進事業委託業務

資金の流 れ、費 用・使 途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○アの国まつりの開催が1日となったため、不用額が発生したが、予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行った
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途について事業目的達成の観点から、必要なものなのか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	ハブ対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部課名	民生課 教育総務課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	地域住民や観光客、児童生徒の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,659	5,291	5,389	5,958	14,710	
		(b)予算現額	3,107	5,291	5,389	6,327	17,353	
		(c)増減額(b-a)	-2,552	0	0	369	2,643	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	3,107	5,291	5,389	6,327	17,353	
	B.執行済額		2,743	5,092	5,208	6,290	16,064	
	うち交付金充当額		2,195	4,073	4,166	5,032	12,850	
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		88.3%	96.2%	96.6%	99.4%	92.6%	
予算の状況の説明		【ハブの捕獲等】会計年度職員の給与改定があったため増額にて対応した 【学校施設工事】第4回変更交付申請時の積算誤り等があり過大積算となったため不用額が過大となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	作業員の配置	目 標	()	(3人)	(2人)	(2人)		
		実 績		2人	2人	2人		
	捕獲器の設置・見廻り	目 標	(130台)	(130台)	(130基)	(160基)		
		実 績	130台	130台	130基	160基		
	捕獲器の追加設置	目 標	()	(5基)	(30基)	()		
		実 績		0基	30基			
	ハブ対策講習会	目 標	()	()	()	(1回)		
		実 績				1回		
	・ハブ侵入対策の測量設計業務の実施(学校施設)	目 標	()	()	()	(測量設計業務完了)		
		実 績				業務完了		
達成状況説明	【ハブの捕獲等】 当初の予定通り、作業員2名を配置し、ハブ咬傷被害が出ないよう事業の実施が出来た。 当初の予定通り、捕獲器160基を設置、見廻りを行い目標を達成した。 当初の予定通り、住民向けハブ対策講習会を開催し目標を達成した。 【学校施設工事】 令和6年度において、学校敷地周囲へのハブ侵入防止柵、防除壁等整備等の測量設計業務を完了することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(9年度)
	【ハブの捕獲等】 ハブ咬傷被害	目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()	
		実 績		0件	0件	0件		
	【学校施設工事】 ハブ侵入対策の測量設計業務完了(学校施設)	目 標	()	()	()	(設計業務の完了)	()	
		実 績				設計業務の完了		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	【ハブの捕獲等】 年間を通しハブの捕獲・駆除を行い、また、ハブ対策講習会による啓発活動や村内放送及び広報誌による注意喚起を行ったこともあり、咬傷被害0件を達成することができた。 【学校施設工事】 令和7年～8年度において、沖縄離島活性化推進事業において、ハブ侵入防止柵、防除壁等の整備工事完了後に効果発現が見込まれる。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【ハブの捕獲等】 令和6年度のハブ捕獲数は254匹と前年度の263匹から横ばい。集落内での目撃情報があった場所への捕獲器の設置や、ハブ対策講習会による啓発、広報誌や防災無線による注意喚起をおこなったことが目標達成の要因と考えられる。 【学校施設工事】 ハブの特性を考慮し、設計を進める中で高さ1.4m及び柵の網目を6mm以下の柵等を整備する必要があることから当初予定している概算工事を大きく上回ることが想定された。	【ハブの捕獲等】 村民のハブ対策への意識が低い。継続してハブ対策講習会、広報誌等による啓発活動を行い、石垣の整備、私有地の草刈りなど環境整備を促す必要がある。 【学校施設工事】 設計時の概算工事費において、当初見積もっていた工事費を大きく上回ったため、今後の工事内容において工事費縮減を図るため、設計の見直し等が必要である。
今後の取り組み方針		
【ハブの捕獲等】 住民からの目撃情報や有識者の見解を参考に、捕獲機を設置箇所を見直し効率的なハブの駆除を行う。 住民向けのハブ対策講習会を継続し、引き続き啓発を図る。 村内放送や広報誌をとおして、引き続き注意喚起を行う。 除草作業や石垣の補修など、ハブが生息しやすい環境整備を行うよう周知する。 【学校施設工事】 安心安全な地域交流の場を確保し、ハブ咬傷被害を未然に防ぐため、学校敷地周囲へのハブ対策施設を整備し、さらには専門家による児童生徒及び教職員向けのハブ対策の講習会を実施し、ハブに対する知識を持った人材育成をおこなう。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>16,064</td><td>16,064</td><td>12,850</td><td>3,214</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,064	16,064	12,850	3,214	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,064	16,064	12,850	3,214	0										
【ハブの捕獲等】 栗国村 7,098千円 報酬等 6,648千円 (報酬:5,726千円) (共済費:921千円) 需用費 421千円 旅費 29千円 作業員 R6年4月～R7年3月 マウス飼料及び燃料費等 住民向けハブ対策講習会 講師派遣代														
【学校施設工事】 栗国村 8,965千円 補助金 8,965千円 株式会社 岩下建技コンサルタン ト 8,965千円 栗国幼小中学校ハブ対策整備工事測量 設計業務委託														

	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検・ 評価目	○	支出先の選定方法は妥当か。	【ハブの捕獲等】 ○支出先については、村の規定に基づき会計年度任用職員として採用し、妥当であった。 ○予算規模については事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	【学校施設工事】 ○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○設計変更等に伴い、不用率が12%となった。 ○費目、使途については適宜、設計変更等をおこない、完了検査の結果、事業設計書に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	国際交流支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,926	6,106	6,118	6,730	3,579
		(b)予算現額	0	0	0	4,181	640
		(c)増減額(b-a)	-2,926	-6,106	-6,118	-2,549	-2,939
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	0	0	0	4,181	640
	B.執行済額					4,181	640
	うち交付金充当額					3,345	512
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初5名派遣を計画していたが、実際1名の派遣となったため、2,939千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	海外ホームステイ生徒派遣1人	目標	(5人)	(5人)	(10人)	(1人)	
		実績	0人	0人	6人	1人	
	報告書作成 20部	目標	(20部)	(20部)	(20部)	(/)	
実績		0部	0部	20部	/		
達成状況説明	・生徒派遣人数が伸びなかった要因としては、募集要項(英検資格4級等)で定めた資格要件を満たす生徒が少なかったため。 ・感想文やホームステイ実施内容等を取りまとめた報告を学校集会及び学習発表会において生徒が成果発表を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(80%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績	/		100%	100%	/
	英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受験)	目標	()	(70%以上)	(70%以上)	(70%以上)	()
		実績	/		60%	53%	/
	進捗状況説明	・派遣生徒は1名のみではあったが、帰国後、派遣生徒へのアンケートで「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」と回答した割合は100%となっており、目標を達成した。 ・英語検定受験者が50%台であり、目標を達成できなかったため、今後の課題として取り組む必要がある。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・今回の事業では、英検4級資格を持つ応募者を求めたところ、応募はあったものの、最終的に要件を満たす者が1名しかいなかった。 ・生徒数が13名しかおらず、在校生で去年派遣された生徒(2名)いたので、今回応募が少なかったことが考えられる。 ・英語検定の受験者が50%台であるため、今後の課題として取り組みを行う必要がある。 ・受検者数や受検意欲のばらつきが影響しています。経済的支援(受験料補助)によって多くの生徒が挑戦できる環境は整いつつありますが、一部の生徒には依然として心理的なハードルや自信不足があり、自発な受験行動につながりにくいケースがあると考えられる。	(英語検定受験受検者数の増加について) ホームステイへ参加を検討する生徒のみならず、英語力向上のため村内生徒へ英語検定の受験の奨励・周知を図る。
今後の取り組み方針		
1. 英検受験料補助の活用: 本村の英検受験料補助制度を活用し、生徒が積極的に英検を受検できるよう支援します。これにより、経済的な負担を軽減し、多くの生徒が受検に挑戦できる環境を整えます。 2. 学校との連携強化: 学校と連携し、英語教育の充実を図ります。具体的には、英語授業において英検対策を組み込むことで、生徒が自然にスキルアップできるようなカリキュラムを構築します。 3. 短期海外留学プログラムの継続: 豊かな国際性を身につけた人材育成を目指し、本村中学生を対象とした短期海外留学ホームステイプログラムへの費用補助を継続します。このプログラムは、生徒にとって貴重な国際経験となり、英語力向上にも寄与するものと考えています。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>711</td><td>640</td><td>512</td><td>128</td><td>71</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	711	640	512	128	71
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
711	640	512	128	71										
栗国村 640千円 補助金 640千円 補助対象者 640千円 栗国村児童生徒派遣費補助金 ほか、村・個人負担 71千円														
資金の流 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、保護者のため妥当であった。 ○予算規模については、ホームステイ事業内容を精査し、妥当であった。 ○受益者負担についても整理したため妥当であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成27～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と 学習環境の充実	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実及び学力向上を図るため、村営塾を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,259	12,234	10,826	10,600	11,618
		(b)予算現額	9,533	10,166	8,865	9,347	11,618
		(c)増減額(b-a)	-1,726	-2,068	-1,961	-1,253	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		9,533	10,166	8,865	9,347	11,618
	B. 執行済額		8,123	7,959	8,459	7,855	9,533
	うち交付金充当額		6,498	6,367	6,767	6,284	7,626
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		85.2%	78.3%	95.4%	84.0%	82.1%
予算の状況の説明		受講生が当初より少なかったことにより、出席率が伸びず不用額が発生したが、変更契約を行い対応した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	5月から翌年3月まで月50コマの村営塾の実施	目 標	月平均80コマ	月平均55コマ	月平均50コマ	(月平均50コマ)	
		実 績	月平均61コマ	月平均70コマ	月平均52コマ	月平均68コマ	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	村営塾を実施することで学校外での学習環境が整い、児童生徒の学びに対する意欲を向上することができた。 また、実績としては月平均68コマとなり目標を達成することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査での県平均値以上	目 標	()	(小:2P以上 中:3P以上)	(小・中共に 県平均値) 以上	(小・中共に 県平均値) 以上	()
		実 績		小:+0.8P 中:+0.3P	小:+1.7P 中:-0.73P	小6算:+18.2p 小5算:+2.9p 中1数:+2.5p 英+11.6p 中2数:+5.5p 英:-4.8p	
	対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」(80%以上)を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績			54%	100%	
	進 捗 状 況 説 明	沖縄県学力達成度調査の正答率について、小学校は目標達成できたが、中学生は一部目標を達成できなかった。 アンケートについて、「授業等への取組姿勢などが向上したか？」という問いに対し「良かった」と回答した割合が100%となったが、アンケートの回収率35%のため、アンケートの回収が今後の課題となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	中学校2年生の英語が県平均を下回ったが、それ以外の教科、学年については、上回った。 前年度よりも学力向上が見られた結果となった。 アンケートの回収率が35%と低いため、今度の課題として取り組む必要がある	例年の課題ではあるが、村行事及び沖縄本島での部活動大会等により、塾に出席できなかった児童生徒が生じたため、学校側と塾及び教育委員会との情報共有を図り、塾授業日程等の調整を適宜行う。 アンケートの回収については、3月末に塾講師を通じて、配布し、その場で回答を行うことにした。
今後の取り組み方針		
・児童生徒の学力も定着してきたことが、県学力到達度調査によっても結果としてでてきた。 引き続き、学力向上(県平均以上)を保てるよう今後も本事業を継続していく。 ・アンケートの回収方法については、3月末の受講後に行うこととした。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>9,603</td><td>9,533</td><td>7,626</td><td>1,907</td><td>70</td></tr></table> 栗国村 9,533千円 委託料 9,533千円 一般社団法人 教育振興会 9, 533千円 アニー学力 アップ支援事業 業務委託 光熱費 交付対象外経費 70千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,603	9,533	7,626	1,907	70
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,603	9,533	7,626	1,907	70										
資金使途の流れ、検・評価目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○受講生の出席率の減に伴い、変更契約により事業内容にあった規模に変更したが不用率は約17.9%となった。 ○費用・使途について、額の確定時において支出等に関する書類により確認を行ったため、適正である。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	児童・生徒派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と 学習環境の充実	
事業内容	児童生徒に広い視野を持たせるため、指導者等を含め、島外で開催される大会等への運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,261	5,225	4,721	4,075	4,391
		(b)予算現額	544	900	937	1,671	1,700
		(c)増減額(b-a)	-4,717	-4,325	-3,784	-2,404	-2,691
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		544	900	937	1,671	1,700
	B. 執行済額		323	449	725	1,357	620
	うち交付金充当額		258	359	580	1,085	496
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		59.4%	49.9%	77.4%	81.2%	36.5%
予算の状況の説明		天候不良により渡航出来ず棄権した大会や予選敗退等により不用額が発生し、執行率は36.5%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	目 標	(支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
		実 績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	島外の人との競争や交流の場を増やし、広い視野を持たせることができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	対象児童生徒及び保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	対象の児童生徒及び保護者に対し、アンケートを実施したところ『児童生徒の視野が広がったか』の問いに対し、「とても思う」、「どちらかというと思う」、の回答が合わせて100%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(「児童生徒の視野が広がったか」について) 派遣費補助を行うことによって保護者の負担が軽減され、各種大会等への参加することによって、島外の人との競争や交流の場を増やし児童生徒にとって様々な経験を積むことにより児童生徒の視野が広がったと思われる。 (大会への参加機会の確保について) 前年度と同様に悪天候の場合、参加できないケースがあった。	(「児童生徒の視野が広がったか」について) 継続して目標を達成するため、各種大会への参加機会を確保する。 (大会への参加機会の確保について) 天候に左右されるケースがほとんどであり、海上時化があった場合前日から派遣できない場合がある。
今後の取り組み方針		
(「児童生徒の視野が広がったか」について) 今後も児童生徒に様々な経験を積んでもらうことなどを目的に、旅費の補助による保護者の負担軽減を図り、児童生徒の各種大会等への参加機会を確保する。 (大会への参加機会の確保について) 前年度と同様に、フェリー欠航が予想される場合は事前出発を含め、前泊・後泊対応が可能か学校及び保護者と協議し、可能な限り島外で開催される大会等への参加機会が確保されるよう努める。。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>620</td><td>620</td><td>496</td><td>124</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	620	620	496	124	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
620	620	496	124											
栗国村 620千円 補助金 620千円 栗国小中学校 (児童・生徒・引率) 620千円 児童生徒派遣費補助金														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、栗国村児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき、栗国小中学校通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり妥当である。 ○悪天候等により渡航出来ず大会等を棄権したことにより、不用率は63.5%となった。 ○受益者との負担関係は栗国村児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき妥当であった。 ○費用、使途については栗国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき支給していることや、精算時において支出等に関する書類により確認しており、適正と判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ		
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和3年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	粟国村へ来訪する人の渡航費負担軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,710	31,732	31,732	31,732	
		(b)予算現額	2,956	3,727	3,132	6,258	
		(c)増減額(b-a)	-3,754	-28,005	-28,600	-25,474	
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	2,956	3,727	3,132	6,258	
	B.執行済額		2,128	3,796	4,526	4,471	
	うち交付金充当額		1,702	3,037	3,621	3,576	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		72.0%	101.9%	144.5%	71.4%	
予算の状況の説明		航空機の整備部品が届かなかったことにより、3月が運休となったため、執行率が71.5%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	目 標	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	令和6年4月1日～令和7年3月22日の期間に、合計752人の航空運賃の補助を実施した。 ※交流人口とは、島民以外の人で粟国村を訪れる人のことを指し、レジャー目的や旅行者の他、ビジネス客等も含んでいる。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	粟国村への観光入域客数:3,300人以上	目 標	()	(3,300人)	(3,300人)	(3,300人)	()
		実 績		3,300人	2,967人	3,208人	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	航空機の機材トラブルや整備部品が届かず運休となることが影響し、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標値に届かなかった原因として、航空機の機材トラブル等による運休が考えられる。	航空機の利用ができない場合でもフェリー等で来島してもらえるよう、観光PRを実施する。
今後の取り組み方針		
粟国村の知名度向上に向け、観光PRに力を入れていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr> <tr> <th>交付金</th><th>市町村負担金</th></tr> <tr> <td>4,471</td><td>4,471</td><td>3,576</td><td>895</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	交付金	市町村負担金	4,471	4,471	3,576	895	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		交付金	市町村負担金													
4,471	4,471	3,576	895	0												
栗国村 4, 471千円 補助金 4, 471千円 第一航空株式会社 4, 471千円 第一航空株式会社が実施する 交流人口への航空運賃割引の一部支援																
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定方法について、栗国村と沖縄本島を結ぶ航空会社は1社のみであり、費用負担の協定書を締結していることから、妥当であった。												
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○航空機のトラブル等の影響により搭乗者数が伸びず事業費の減額が生じた												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○受益者負担については、「栗国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業に係わる協定書」により受託者負担を4割、村負担3割とあるので妥当と考える(県負担3割)												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。												

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	粟国村自動車航送運賃低減化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ	
担当部課名	船舶課	事業実施 (予定)年度	令和3年～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成	
事業内容	離島の不利性を解消し定住環境の改善を図るため、粟国・那覇間の自動車航送運賃を軽減する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	35,234	11,391	11,399	11,412	13,754
		(b)予算現額	5,301	9,080	10,288	13,765	15,172
		(c)増減額(b-a)	-29,933	-2,311	-1,111	2,353	1,418
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	5,301	9,080	10,288	13,765	15,172
	B.執行済額		3441	9080	10518	13,622	14,918
	うち交付金充当額		2752	7263	8414	11,011	11,934
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		64.9%	100.0%	102.2%	99.0%	98.3%
予算の状況の説明		当初は過去実績を元に利用台数を設定していたが、新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛等の緩和の影響により利用実績が想定を上回り、執行済額が昨年度比1,296千円増となり、最終執行率は98.3%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	自動車航送運賃を低減するための支援実施	目 標	(負担の軽減)	(負担の軽減)	(負担の軽減)	(負担の軽減)	
		実 績	負担の軽減	負担の軽減	負担の軽減	負担の軽減	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	本村と沖縄本島を結ぶ交通手段であるフェリーの車両航送運賃(往復分)の助成を行ったことで、本島へ移動しやすい環境を構築することができ、定住環境の改善を図るとともに村民の渡航における負担軽減に寄与できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		83%	83%	89%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	利用者及び村民を対象にアンケートを実施し、89%が肯定的な意見となっていたため、目標を達成できたと考える。 【アンケート結果】 1. 満足している……89% 2. 満足していない… 3% 3. どちらでもない… 8%					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和6年度は天候等にも恵まれ運航率が91.7%と高かったため、成果目標が達成できた。	利用者が増えたことで受付時に混雑がみられたので、受付事務の効率化を図る。
今後の取り組み方針		
利用客数は増加したため、受付時に混雑がみられたので、キャッシュレス、チケットレス化への検討をしており、受付事務の効率化を図りより、本島へ移動しやすい環境づくりに取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
29,836	14,918	11,934	2,984	14,918

栗国村

令和6年4月～令和7年3月

交付対象事業費
14,918千円

栗国村
(航路運航事業特別会計)

令和6年4月～令和7年3月

●交付対象事業費(助成金繰出金)14,918千円
1台あたり(チケット代×台数)
3m～4m(14,130円×865台≒12,222千円)
4m～5m(18,850円×143台≒2,696千円)

〔自動車航送運賃往復代に対する運賃の一部支援〕

●交付対象外経費(受益者負担分)14,918千円
1台あたり(チケット代×台数)
3m～4m(14,150円×865台≒12,222千円)
4m～5m(18,850円×143台≒2,696千円)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶航路事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計をしており、支払先は妥当だと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については増額補正があったものの妥当と考える
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○約5割を受益者が負担していることから妥当だと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途について、確定時において支出等に関する書類

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	粟国村交通移動手段低減化対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ	
担当部課名	船舶課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成		
事業内容	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの往復運賃を一部補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	11,014	15,899			
		(b) 予算現額	15,321	19,803			
		(c) 増減額(b-a)	4,307	3,904			
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	15,321	19,803			
	B. 執行済額		15,487	18,583			
	うち交付金充当額		12,390	14,866			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		101.1%	93.8%			
予算の状況の説明		当初、大人7,901人、小人337人としていた目標値を、第3回変更(12月)において大人9,865人、小人372人とし、増額補正したが、実績としては下回り、執行率は93.8%となった					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度			
	那覇泊港～粟国港間の乗船運賃を一部補助	目 標	(負担軽減)	(負担軽減)	()	()	
		実 績	実施	実施			
	【参考指標】 計画数を達成する。	目 標	大人5500人、小人180人	大人9,865人、小人372人			
		実 績	大人7,708人、小人306人	大人9,268人、小人328人			
達成 状況 説明	前半(4月～9月)の伸び率を後半に見込んで、人数を第3回変更(12月)大人7,901人から9,865人、1,964人増、小人337人から372人、35人増とした。しかし目標を上回ることにはなかったが、昨年度より利用者が17%増となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	アンケートにおいて満足度を80%以上とする	目 標	()	(80%)	(80%)	()	
		実 績		98%	98%		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進捗 状況 説明	アンケートの結果、目標の80%を超える方に満足いただけたが、「どちらでもない」という意見については今後の対応策を検討する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	昨年度事業の周知に課題があったため、那覇事務所窓口に事業の案内をモニターで行い、周知を図った。昨年より利用者が17%増となったが、島民以外の利用者を対象としたアンケートにおいて、「本事業による効果を期待したい分野は何ですか?」という設問に対し、キャッシュレス化をはじめとするDX化の推進についての回答が多かったため、より多くの人に訪れてもらうためキャッシュレス化を推進する必要がある。	キャッシュレス化が進んでいる中、本村ではまだ現金のみの取扱のため、キャッシュレス化の取組を推進し、利用者の利便性の向上を図る取組が必要である。
今後の取り組み方針		
キャッシュレス化や島内での利便性を関係部署との認識を共有して改善し、気軽に訪れることができる粟国島として利用者増を図る。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,583	18,583	14,866	3,717	0

栗国村
(一般会計)

令和6年4月～令和7年3月

交付対象事業費
18,582千円

栗国村
(航路事業特別会計)

令和6年4月～令和7年3月

●交付対象事業費
大人9,268人×1,970円=18,257,960円
小人328人×990円=324,720円
合計18,582,680千円

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○航路事業において旅客運賃を発券しており集計もしている ので、支払先は妥当と考える。 ○予算規模については、利用者数に即したもので妥当と考 える。 ○実質の受益者負担は7割であるので妥当と考える。 ○運賃の軽減が交流人口増に繋がっており、目的に沿った ものとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	離島航空路チャーター運航支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-3-(7)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成		
事業内容	離島住民の交通手段である離島航空を確保・維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、チャーター便の運行に伴い生じた欠損額に対して補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	66,967	66,967			
		(b) 予算現額	63,015	41,402			
		(c) 増減額 (b-a)	-3,952	-25,565			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	63,015	41,402			
	B. 執行済額		63,015	41,402			
	うち交付金充当額		50,412	33,121			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		欠損額に対する補助を予定通りに執行できたので、執行率は100%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度			
	那覇・粟国間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助	目 標	(欠損補助)	(欠損補助)	()	()	
		実 績	欠損補助	欠損補助			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	チャーター運航に関する欠損額に対して補助した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	目 標	()	(確保・維持)	(確保・維持)	()	
		実 績		確保・維持	確保・維持		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進捗状況説明	チャーター運航に関する欠損補助を行い、那覇⇄粟国間の航空路線を確保・維持できた					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	チャーター運航に対する欠損補助を行い、那覇⇄粟国間の航空路線を確保、維持できた。	欠損額の減少に向けて、業務改善の提案や航空機の利用率増加に向けた取り組みが必要と考える。
今後の取り組み方針		
航空機の利用率増加に向け、粟国村の知名度向上を図るため、観光PRに力を入れていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>41,402</td><td>41,402</td><td>33,121</td><td>8,281</td><td>0</td></tr> </table> 粟国村 41,402千円 補助金 41,402千円 第一航空株式会社 41,402千円 第一航空株式会社が実施する欠損額の補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	41,402	41,402	33,121	8,281	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
41,402	41,402	33,121	8,281	0										
資金使途の流れ、点検、評価・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については粟国村と沖縄本島を結ぶ航空会社は1社であり、かつ、費用負担の協定書を締結していることから妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額を発生させることなく執行できたため、適正規模と判断した。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○粟国・那覇間航空路チャーター運航支援事業補助金交付要綱及び離島航空路チャーター運航支援事業補助金交付要綱に基づいた負担としているため、妥当と判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。											

市町村名	栗国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	栗国村拝所整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-1-(4)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和6年度 ～ 令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	伝統行事の保存のために、各所の拝所の整備を行う。 令和6年度:基本計画 令和7年度:基本設計、実施設計(土質調査含む) 令和8年度:建設工事、監理業務委託						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R9 年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,088				
		(b)予算現額	5,159				
		(c)増減額(b-a)	-5,929				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	5,159				
	B. 執行済額		5,159				
	うち交付金充当額		4,127				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		実績に基づき、減額補正があったものの、基本計画を策定できたので、執行率は100%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	基本計画の完了	目 標	(基本計画 の完了)	()	()	()	
		実 績	基本計画 の完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	栗国村拝所整備事業の基本計画が完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度		目標値 (年度)	
	基本計画の完了	目 標	()	(基本計画 の完了)	()	()	
		実 績		基本計画 の完了			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進捗 状況 説明	栗国村拝所整備事業の基本計画の策定が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標である基本計画が完了したので、課題はないと考えられる。	成果目標である基本計画が完了したので、改善の必要はないものと考えられる。
今後の取り組み方針		
令和7年度は基本設計、実施設計の完了に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>5,159</td><td>5,159</td><td>4,127</td><td>1,032</td><td></td></tr></table> 栗国村 5, 159千円 委託費 5, 159千円 株式会社 サンケイエンジニアリング 5, 159千円 栗国村拝所整備事業基本計画策定業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	5,159	5,159	4,127	1,032	
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
5,159	5,159	4,127	1,032											
資金 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、入札残による減額が生じたが、不用額を発生させることなく執行できたため、適正規模と考える											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑦	第2次粟国村観光振興計画策定事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部課名	経済課	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の 振興観光の振興に資する事業等		
事業内容	平成24年度に策定した粟国村観光振興計画の次期計画となる第2次粟国村観光振興計画(計画期間:令和7年度から14年度)を策定する。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7 年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,385				
		(b)予算現額	11,341				
		(c)増減額(b-a)	-44				
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)	11,341				
	B. 執行済額		11,341				
	うち交付金充当額		9,072				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		令和6年度は当初計画どおり執行を進めたため執行率は100%であった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R6年度			
	第2次粟国村観光振興計画の策定	目 標	(策 定)	()	()	()	()
		実 績	策定完了				
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
達成 状 況 説 明	令和6年度中の策定を目標としてアンケート調査や村民ワークショップ、検討委員会等に取り組み、当初予定通り策定した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度		目標値 (年度)
	第2次粟国村観光振興計画の策定	目 標	()	(策 定)	()	()	()
		実 績		策定完了			
		目 標	()			()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	策定した第2次粟国村観光振興計画は令和7年度から14年度までの8年間を計画期間とし、本村の観光の8年後の将来像の実現を目指すための目標値を定めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に移行したことにより、全国的に観光産業が復活してきたところであるが、旅行者の観光における思考や行動の変化、観光人材不足などの課題も生じてきていることから新たな調査分析や内容の検証等を行いながら第2次観光振興計画を策定した。	第2次栗国村観光振興計画の将来像「自然と文化を守り、地域と訪れる人が共に豊かになれる、共生型観光」を掲げ、本計画の実現に向けて4つの基本施策を位置づけた。村役場だけの取り組みでは実現は困難なので、栗国村観光協会と連携を図って推進していく必要がある。
今後の取り組み方針		
本計画の将来像「自然と文化を守り、地域と訪れる人が共に豊かになれる、共生型観光」の実現に向けてアクションプランごとにKPIを設定し、その達成に向けて栗国村観光協会と連携しつつ、企業や各種団体、村民等と協働で推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>11,341</td><td>11,341</td><td>9,072</td><td>2,269</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,341	11,341	9,072	2,269	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,341	11,341	9,072	2,269	0										
栗国村 11,341千円 委託料 11,341千円 株式会社国建 11,341千円 第2次栗国村観光振興計画策定支援業務														

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模目標を達成するために必要とされる適正な予算規模となっている。 ○費用・使途について事業目的達成の観点から、必要なもののなか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	和牛改良支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化			
事業内容	本村畜産業支援のため、付加価値の高い子牛の生産ができるよう県内外から母牛となる素牛としての優良雌子牛の導入を支援して畜産業の振興を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度～令和10年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H27年度	H28年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,500	4,000	10,000	5,000	2,500	
		(b)予算現額	4,500	4,000	5,000	1,200	2,500	
		(c)増減額(b-a)	0	0	-5,000	-3,800	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		4,500	4,000	5,000	1,200	2,500	
	B. 執行済額		2,400	3,882	2,364	0	670	
	うち交付金充当額		1,920	3,105	1,182	0	535	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		53.3%	97.1%	47.3%	0.0%	26.8%	
予算の状況の説明		当初5頭(セリ購入(税抜き)1,000千円×5頭)の導入を予定していたが、セリ価格の下落により1,831千円が不要となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	優良雌子牛導入5頭	目 標	(10頭)	(10頭)	(10頭)	(5頭)		
		実 績	10頭	4頭	0頭	2頭		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	物価高騰による飼料代等高騰により、収益が上がらず導入を断念したため、当初計画通りに導入することができなかった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R10年度)
	優良雌子牛導入5頭	目 標	()	(10頭)	(10頭)	(5頭)	()	
		実 績		4頭	0頭	2頭		
	【R6後年度発現成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合104.4%	目 標	()	()	()	(104.40%)	(122.00%)	
		実 績				67%		
	進 捗 状 況 説 明	(優良雌牛導入) 導入した優良雌牛の平均が10～12ヶ月のため、発育を見ながら、種付けする予定である。 (子牛の価格差) ・優良母牛導入支援については、5頭導入を計画したが、昨今のセリ価格の低下や飼料等の高騰から、計画頭数を導入するに至らなかった。 ・昨今のセリ価格の低迷から導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛の価格さの割合も達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(優良雌牛導入) 物価高騰による飼料代等高騰の影響により、雌牛購入による生産コストの増加が懸念され、農家の雌牛導入が進まなかったと考えられる。 (子牛の価格差) 物価高騰による牛肉の消費、需要の低下並びに原油価格及び飼料価格の上昇等から、子牛のセリ価格にも影響があり、セリ価格の下落が続いている。	(優良雌牛導入) 飼料代等の物価高騰に対し、県や国の補助事業やJA等を活用し積極的に支援を強化していく。 対象牛の年齢を引き上げることで、生産コストの削減に繋げていく。 (子牛の価格差) 飼料価格の高止まりが継続しており、自給飼料の増大や生産コスト削減等、経営への影響を最小限に抑える取り組みを強化する必要がある。
今後の取り組み方針		
(優良雌牛) 現在の県・国の補助だけでは支援不足である為、JAと連携し県・国に対し補助金増加等の支援策強化に向け、引き続き調整していく。 (子牛の価格差) 生産コストの削減に向けて牧草などの飼料自給率を上げていく必要があるので、JA等の関係機関と連携して生産技術の向上を目的とした講習会等の開催を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
資金の流れ																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>充当額</th><th>市町村負担金</th></tr><tr><td>1,339</td><td>670</td><td>535</td><td>135</td><td>670</td></tr></table> 栗国村670千円 補助金 670千円 南部地区和牛改良組合 栗国村支部 670千円 和牛改良支援事業補助金 ほか、交付対象外事業費 670千円					総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	1,339	670	535	135	670
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費												
		充当額	市町村負担金													
1,339	670	535	135	670												
資金の 使途の 流れ 検証 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○村の補助金関係の要綱に伴い選定されており、妥当である。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模については、セリ市場価格を参考に積算。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○受益者は、導入経費の2分の1を負担しているため、妥当。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については、例年額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、必要事項に限定して支出している。												

市町村名	栗国村												
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	4-②		栗国島農業活性化事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(10)-(ア)				
担当部課名	経済課		事業実施 (予定)年度		令和5年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興				
		Ⅲ-1-(6)											
事業内容	干ばつ時の灌水対策や台風通過後の塩害対策に向けた散水車両の導入(4t散水車2台のリース)により、離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組を推進する。												
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)												
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		
			(a)当初予算額		6,237		6,490						
			(b)予算現額		4,379		2,794						
			(c)増減額(b-a)		-1,858		-3,696						
			(d)繰越額		0		0						
	A.計(b+d)		4,379		2,794								
	B.執行済額		4299		2764								
	うち交付金充当額		3440		2210								
	次年度繰越額		0										
	執行率(%) (B/A)		98.2%		98.9%		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		
予算の状況の説明		リース期間を短くしたことにより、執行率が98.9%となった。											
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況									
				R5年度		R6年度		R7年度		R8年度			
	4t散水車リース			目 標	(2台)	(2台)	()	()	()				
				実 績	2台	2台							
				目 標	()	()	()	()	()				
				実 績									
	達成状況説明	当初予定通り、散水車を2台リースすることができた。											
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
	サトウキビ収穫量:1,822トン以上			目 標	(1,890トン)	(1,822トン)	()	()	()				
				実 績	1,462トン	2,750トン							
	もちきび収穫量:1,995kg以上			目 標	(3,175トン)	(1,995トン)	()	()	()				
				実 績	81kg	517kg							
	タマネギ収穫量:360kg以上			目 標	()	(360kg)	()	()	()				
				実 績		0							
	進捗状況説明	もちきび、タマネギについては害虫被害による影響で減少した。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	サトウキビについては、導入した散水車の効果もあり、干ばつの影響を最小限に抑え目標を達成できた。 もちきび、タマネギについては、干ばつの影響を抑えることができたものの、害虫被害の影響が目標未達の原因と考えられる。	リース開始時期を早め、干ばつ対策、塩害対策及び負担軽減を図る。
今後の取り組み方針		
今後も干ばつが予測されるため、散水車を導入することにより干ばつ対策、塩害対策及び負担軽減を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,764</td><td>2,764</td><td>2,210</td><td>554</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,764	2,764	2,210	554	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,764	2,764	2,210	554	0										
栗国村 2,764千円 使用料及び賃借料 2,631千円 〔 散水車 リース料 〕 役務費 133千円 〔 車輛運搬 〕														
資金の流 使途の 点検・ 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○リース業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○リース期間を短くしたことにより、執行率が98.9%となった。 ○散水車のしようにより干ばつの影響を抑えることができたため、目的に即し真に必要なものとする											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												